

二宮町第2次環境基本計画  
後期実施計画（令和2年度）の進捗状況について  
（案）

令和3年12月

二 宮 町

# 目次

I	二宮町第2次環境基本計画について	1
1.	計画期間	1
2.	基本理念	1
II	施策体系	2
III	評価方法について	2
1.	評価方法	2
IV	基本目標別進捗状況及び評価	3
1.	生物多様性の保全	
	多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち	3・4
2.	循環型社会の実現	
	環境にやさしい循環型のまち	4
3.	低炭素社会の形成	
	地球環境の保全に取り組むまち	5
V	令和2年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見	6
	<はじめに>	6
	<令和2年度全体評価>	6
	<基本目標別意見>	6
	1. 生物多様性の保全について	6
	2. 循環型社会の実現について	6
	3. 低炭素社会の形成について	6
資料	二宮町第2次環境基本計画後期実施計画 (令和2年度進捗状況一覧)	

# I 二宮町第2次環境基本計画について

## 1. 計画期間

環境基本計画の計画期間は、平成24年度～平成34年度(令和4年度)とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和2年度については、後期実施計画の2年目となります。

計画期間区分		対象期間
第2次 環境基本計画	前期実施計画	平成24年度～平成27年度
	中期実施計画	平成28年度～平成30年度
	後期実施計画	令和元年度～令和4年度

## 2. 基本理念

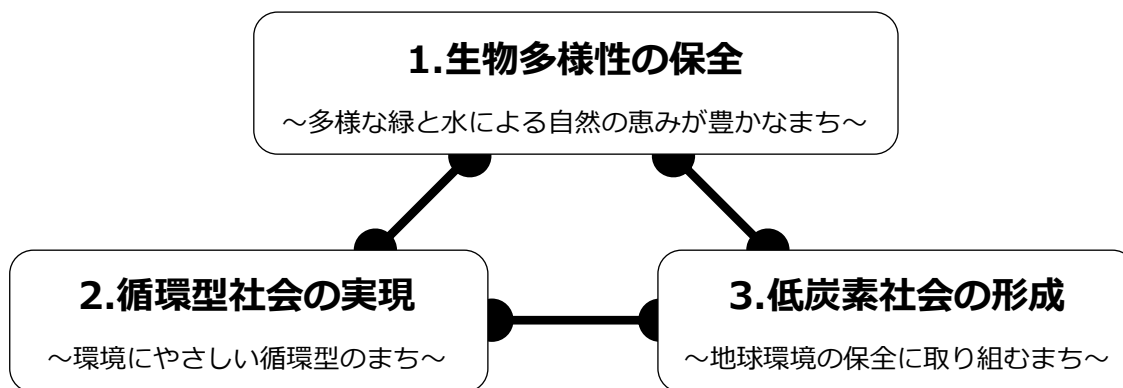
『のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを

～里山・里地・里川・里海と暮らすまち へのみや～』

環境基本計画では、「自然からの恩恵だけでなく、自然災害など自然の力も含め、人と自然が共生する環境のまち(ふるさと)をめざし、二宮町が有する豊かな自然環境を大切に育むことを通じて、まちへの愛着を育む」ことを基本理念としています。

この基本理念を実現するため、3つの骨太の柱となる基本目標を設定し、二宮町の自然・社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組んでいきます。

### 基本目標(3つの骨太の柱)



\*1～3は、相互に関連しています。

## II 施策体系について

二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和元年度～令和4年度）では、環境基本計画で立てた骨太の柱となる3つの目標に、14の基本施策を設定し、それらを実現するため53の事業を設定しました。

基本目標	基本施策	事業数	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による 自然の恵みが豊かなまち	1-1. 吾妻山の保全と魅力の向上	1	21
	1-2. 丘陵地や谷戸などの保全	6	
	1-3. 水と親しめる葛川の再生	6	
	1-4. 二宮海岸の保全と魅力の向上	6	
	1-5. 良好な自然を象徴する動植物の保全	2	
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	2-1. リデュースの促進(ごみの発生や排出の抑制)	5	17
	2-2. リユースやリサイクルの促進	3	
	2-3. ごみの適正な処理・処分の推進	5	
	2-4. 不法投棄防止の推進	2	
	2-5. 地産地消の促進	2	
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	3-1(2). 省資源・省エネルギー活動の促進 自然エネルギーの活用	6	15
	3-3. 緑化や雨水利用などによる環境の保全	3	
	3-4. 環境保全による安全なまちづくり	3	
	3-5. 快適な生活環境の向上	3	
総事業数		53	

## III 評価方法について

### 1. 評価方法

後期実施計画は、基本目標ごとに重点事業を設け、重点事業の進捗管理を行うことで、基本目標の効果を把握しやすくしました。

また、各事業の評価方法についても一定の基準で評価できるよう、「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価する方法に変更したことにより、それぞれの事業において、一貫した評価を行えるようにしました。

#### 《後期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75-99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50-74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25-49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0-24%】

## IV 基本目標別進捗状況及び評価

### 1. 生物多様性の保全 ～多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち～

「生物多様性の保全」については、里山・里地・里川・里海という多様性に富む豊かな自然を大切に保全し育むとともに、自然と人間が生活の様々な場面で共生することを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
1-2-①	里山再生育成事業	—	—
1-3-④	葛川水質調査の実施	B	92%
1-4-④	湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	—	—

#### 【里山再生育成事業】

例年、田植えや、稲刈りの体験、椎茸植菌教室を開催し、里山や里地における自然環境保全の大切さを広めることや、関連団体との情報交換等により、里山保全の意識を高め、里山の保全及び育成を図ってきましたが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種体験学習や教室を中止とせざるを得なかったことから、本事業における評価の数値指標(事業参加者数)に影響がありました。従って、評価を「非該当(一)」とします。

しかしながら、代替事業として、町と関連団体のみで体験学習用地の維持管理を兼ねた田植えや稲刈りを実施し、希望のあった幼稚園に苗や収穫物の配布を行いました。

今後、事業が中止となった場合の代替事業実施について、関連団体と共に検討していきます。

#### 【葛川水質調査の実施】

家庭や事業所の排水による河川の水質実態を把握するため、定期的に水質測定を行い、その測定結果を町ホームページに公開することで、町民へ周知しました。

年4回6地点で水質測定を実施したところ、測定地点数に対する測定値の割合(地点数割合)が環境基準値内である地点は96%となり、昨年度の89%と比較して、水質の改善が見られましたが、一色橋の水質検査では、BODのみが環境基準値を超過したため、本事業の評価は「B」とします。

今後も定期的な水質測定を実施しながら、下水道整備等による河川水質の改善効果にかかわる啓発や、水質悪化の原因などの周知を行っていきます。

### 【湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン】

例年、海岸保全の気運を高めるため、町民やボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行ってきましたが、令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止とせざるを得なかったことから、本事業における評価の数値指標(海岸 530 キャンペーン参加者数)に影響がありました。従って、評価を「非該当(一)」とします。

今後は、湘南にのみや海岸 530 キャンペーンのみならず、町民、関係団体等と連携・協力して実施できる取組みについても検討していきます。

## 2. 循環型社会の実現 ～環境にやさしい循環型のまち～

「循環型社会の実現」については、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、町内で生産・流通・消費の循環を実現していくことを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
2-3-①	二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	C	50%

### 【二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進】

循環型社会の実現を図るため、「二宮町一般廃棄物処理基本計画」に基づく各種施策を推進し、ごみの減量化や資源化等に努めてまいりました。

「減量化」については、1人1日あたりのごみ総排出量の目標値 810g に対して実績値 840g、「資源化」については、資源化率の目標値 34.4%に対して実績値 35.02%、「最終処分量の削減」については、埋立量の目標値 78t に対して実績値 94t となり、令和元年度は全項目目標を達成できずに D 評価となりましたが、令和2年度においては資源化率の目標を達成することができました。

また、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、町民の在宅時間が増加したことから、ごみの排出量も増加したと推測されますが、資源化率の改善が見られたことから、本事業の評価は「C」とします。

今後も引き続き広報媒体を活用するなど、積極的に啓発していきます。

### 3. 低炭素社会の形成 ～地球環境の保全に取り組むまち～

「低炭素社会の形成」については、地球全体における持続可能な社会を実現するための課題となっている二酸化炭素排出量の削減を目指し、省資源・省エネルギー活動の促進や環境保全の啓発に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価点数については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
3-1(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	—	—

#### 【地球温暖化防止運動の推進】

例年、温室効果ガスの排出抑制を推進するため、環境活動団体と協力して様々なイベントを行ってきましたが、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種イベントを中止せざるを得なかったことから、本事業における評価の数値指標(ふるさとまつりで実施しているマイエコ10宣言で、10個以上回答した人の中で、5個以上実施している人の割合)に影響がありました。従って、評価を「非該当(一)」とします。

しかしながら、代替事業として、環境関連のホームページ刷新をはじめ、さまざまな広報媒体を活用し、積極的な啓発を実施するとともに、本事業の数値指標でもある、マイエコ10宣言については、ふるさとまつりでの実施はできませんでしたが、代替として、町立小中学校の児童生徒に対してマイエコ10宣言を実施し、その結果を学校にフィードバックしました。

\*「マイエコ10宣言」とは、神奈川県が実施している取り組みで、持続可能な社会を実現するため、私たち1人ひとりの取り組みの環(わ)を広げることを目的としており、16個の環境にやさしい取組みの中から、取組みめそうなものを10個選んで実践していくものです。

#### 《参考》

##### 重点事業の評価

基本目標	重点事業	評価	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による自然の恵みが 豊かなまち	2-1.里山再生育成事業	—	—
	3-4.葛川水質調査の実施	B	92%
	4-4.湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	—	—
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	3-1.二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	C	50%
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	1(2)-1.地球温暖化防止運動の推進	—	—
事業数 計	5		

## V 令和2年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見

(令和3年 月 日)

### <はじめに>

二宮町環境審議会では、「二宮町第2次環境基本計画後期実施計画」の令和2年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

### <令和2年度全体評価>

#### <基本目標別意見>

##### 1. 生物多様性の保全について

- ①
- ②

##### 2. 循環型社会の実現について

- ①
- ②

##### 3. 低炭素社会の形成について

- ①
- ②